

[2] 研究開発単位 I 「未来航路」

(1 年次生)

(1) グローバル人材とは？ (校内研修)

- 本校が目指す人材像『『和して流れず』、『松柏』の精神で、次代を担う高い志を持ち、未来の岡山と世界の Well-being の実現に貢献するグローバル・リーダー』を自分の言葉で具体的に定義し、自分が目指す人物像を明確にする。
- 自分が定義した「グローバル人材」に自分が向いているところ、自分が定義した「グローバル人材」になるために、今後の「未来航路」・「SOZAN STEAM」を通して身につけたい力について考える。

(2) グローバル講演会 (校内研修)

- 講演『未来の岡山と世界の Well-being の実現に貢献するグローバル・リーダー』
就実大学 経営学部経営学科 教授 林 俊克 氏

(3) GPS-Academic

- ベネッセコーポレーションの GPS-Academic を受検し、その結果から「批判的思考力」・「協働的思考力」・「創造的思考力」の 3 点について、自分の強み・弱みを理解し、今後の「未来航路」・「SOZAN STEAM」で伸ばしたい思考力について考える。

(4) 課題研究基礎

- 本格的な課題研究の前の練習として、班ごとに「身近でローカルな課題」を設定し、それに対する解決策を提案する。
- テーマ設定⇒情報収集⇒情報分析⇒スライド作成⇒クラス発表の一連の流れを経験する。

(5) 2 年生課題研究発表会見学

- 2/7 (水) の 2 年生の課題研究発表会を見学し、これからの自分たちの課題研究に向けて気持ちを新たにする。

(6) グローバル講演会

- グローバル講演会『課題研究の方法と実践』
ノートルダム清心女子大学 文学部現代社会学科 教授 森 泰三 氏

(7) 課題研究準備 (2 年次に向けて)

- 本格的な課題研究の準備として、研究したいテーマをいくつか挙げる。

(2年次生)

1年次に班編成、研究テーマ設定、課題研究計画書の作成まで行い、2年次は本格的にグループによる課題研究に取り組んだ。その中で以下の行事を実施した。

- | | |
|-------------|-------------------|
| ① 6/7 (水) | 第1回課題研究に関する指導助言 |
| ② 10/4 (水) | 第2回課題研究に関する指導助言 |
| ③ 11/15 (水) | 課題研究代表班決定コンペティション |
| ④ 2/7 (水) | 課題研究発表会 |

課題研究に関する指導助言では、12名の大学の先生に講師として来校いただき、生徒のプレゼンテーションに対して指導と助言をいただいた。課題研代表班決定コンペティションでは、各班のプレゼンテーションを生徒が相互評価し、課題研究発表会当日に全体発表をする代表班を決定した。課題研究発表会では、午前にポスターセッション、午後に代表班による研究発表を実施した。また、全ての班が「課題研究のまとめ」を作成し、年度末に文集を作成した。

(3年次生)

3年次生の「未来航路Ⅲ」は選択科目である。選択した生徒の進路希望の学部・学科に関連した学問領域を意識しながら、課題研究をより学術的に客観データの収集・分析・表現、内容の論理的展開に重点を置いて指導した。選択者は2名で、それぞれモンテッソーリ教育、アサーショントレーニングについて課題研究を行った。

進路希望と関連付けた学術的な課題研究をめざすために、次のような手順を進めた。

- ・研究内容のキーワードを考える。
- ・リサーチクエスチョンを設定する。
- ・先行研究・事例(「CiNii」「Google Scholar」)を考察する。
- ・仮タイトル、目的、方法について検証する。
- ・研究計画書を作成する。
- ・文献調査などを行い、考察する。
- ・研究論文を作成する。
- ・「まとめ」の内容と「目的」について整合性を考える。

7月に3年団の先生に対して中間発表を行い、指導助言をもらい研究を深め、最終論文を完成させ、12月に最終発表を校内で行った。